

おたふくかぜ

〈 おたふくかぜとは 〉

ムンプスウイルスに感染することで起こる耳下腺炎のことで、2～3日の発熱(発熱がないこともあります)と、耳の下やあごのあたりが腫れて痛みを伴います。たいてい左右とも腫れますが片方だけのこともあり、通常、腫れは1週間ほどでひきます。

感染経路 飛沫感染(咳やくしゃみの飛び散る1m以内に近づくとうつる)

潜伏期間 感染してから症状が出るまでの期間 2～3週間

感染期間 人にうつす力のある期間 症状が出る1～2日前から腫れている間

治療

根本的な治療はありませんが、痛みを和らげるために冷湿布が処方されることがあります。

合併症は？

おたふくかぜにかかると10人に1～2人の割合で髄膜炎が起こります。症状は高熱の他に顔色が悪く頭痛、吐き気をともないます。また、まれに難聴(聞こえが悪くなる)や睇炎(お腹がすごく痛くなる)、思春期過ぎにかかると精巣炎・卵巣炎を合併することもあります。

登園・登校はいつから？

腫れがあるうちは人に接近しただけでうつしてしまう可能性があるため、腫れが引くまで(約1週間)お休みします。目安は主治医に相談してみましょう。

予防は？

予防接種で95%予防できます。また、かかっても軽く済ませることができるので、任意接種(自費)ですが流行前におたふくの予防接種を受けておくことをお勧めします。

他の予防接種を受ける目安

登園可能(治った)と言われてから1ヶ月で他の予防接種が受けられます。

ホームケア

食事：口を開けるのがつらいので、酸っぱいものや硬いものはよけい痛みを増します。おかゆやお豆腐、ポタージュスープ、プリンなど柔らかく飲み込みやすいものが良いでしょう。

衣類：着脱のときあごに引っかかると痛いので、かぶるなら襟口が広いものをまたは前あきタイプのものが良いでしょう。

入浴：高い熱や痛みが強いなどの症状がなければ、お風呂に入ってもかまいません。

腫れている間は外出はできないので、おうちでゆっくり過ごしましょう